

国内のセキュリティ市場を調査

- 2010年 市場見込 -

【セキュリティ全体】前年比2.4%増の5,493億円 一部で設備投資改善も本格回復に至らず
【ホームセキュリティ】同3.7%増の2,454億円 ホームセキュリティユニットなどに需要
【ネットワークレコーダー】同38.5%増の54億円 各分野でIPネットワーク化進む

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 阿部 界 03-3664-5811)は、主要なセキュリティ機器・システム及びサービスの国内市場(セキュリティ市場)を調査した。この結果を報告書「2010 セキュリティ関連市場の将来展望」にまとめた。

この調査では、「映像監視」「アクセスコントロール」「イベント監視・通報」「家庭向け防犯」「防災・危機管理」「自動車・ITS」の6分野のセキュリティ機器・システム(31品目)と、セキュリティサービス(8品目)の各市場を分析し、今後を予測した。

また、セキュリティ市場を「ホーム」「ビル設備」「カー」「ストア」「パーソナル」「オフィス」「ホームランド(空港、税関、発電所など)」「タウン」「スクール」「その他」と10のセキュリティシーン(場面)別に分類し、各々におけるセキュリティ機器・システム及びサービスの動向を分析した。

<調査結果の概要>

09年 5,366億円 10年見込 5,493億円 13年予測 5,517億円(09年比102.8%)

2009年のセキュリティ市場は、前年比11.0%減の5,366億円となった。2008年後半からの急速な景気後退の影響を受け、セキュリティにおいても設備投資の抑制が案件の凍結や延期などに繋がった。

2010年は設備投資の改善の兆しも一部で見られるが本格的な市場回復には至らず、前年比2.4%増の5,493億円が見込まれる。住宅用火災警報器の既築住宅への設置が一段落する2013年には、この反動を受け2009年比2.8%増の5,517億円に留まるものの、住宅用火災警報器を除いた金額では同13.0%増の5,304億円が予測される。

<セキュリティシーン別 上位市場>

1. ホームセキュリティ

09年 2,366億円 10年見込 2,454億円 13年予測 2,194億円(09年比92.7%)

2006年に施行された改正消防法で新築及び既築住宅への設置が義務付けられた住宅用火災警報器の存在が大きく、30%弱を占めている。既築住宅への設置期限が2011年であるため、これをピークに市場が縮小していくと予測される。また、セキュリティ意識の高い高所得者層の需要が一巡していることや、新築住宅市場の伸び悩みも、市場縮小の要因となりうる。

家庭向け防犯機器や防犯サービスは、幅広い層でセキュリティ意識が高まっていることや、低価格化が進んでいることから、拡大していくと考える。センサやカメラなどと組み合わせて使用するホームセキュリティユニット(自主警備型のコントローラ端末)は、警備会社などのホームセキュリティサービスより低価格で施工が簡易であることから、代替需要を取り込んでいくほか、介護支援ツールとしても需要が高まる見通しである。一方、ホームセキュリティサービスも幅広い層をターゲットとすべく、警備会社などが料金プランやサービス内容を拡充しており、契約数を伸ばしていくと見込む。2013年には2009年比でホームセキュリティユニットは51.9%増、ホームセキュリティサービスは22.8%増と予測する。また、PCや携帯電話とセキュリティ機器の連動、遠隔操作といった、ネットワークを通じた連携が広がっていくと予測する。

2. ビル設備セキュリティ

09年 917億円 10年見込 917億円 13年予測 982億円(09年比107.1%)

ビル施設共有部を対象とした。中央監視システムや侵入センサなどイベント監視・通報分野が50%弱を占めている。2009年は設備投資の冷え込みで市場が縮小し、2010年も前年並みが見込まれる。設備投資が回復すると考えられる2011年以降は拡大を予測する。

不特定多数の人が出入りする共有部のセキュリティ対策として映像監視分野が拡大しており、今後も成長が続くと予測する。特にビル内のIP(Internet Protocol)ネットワーク化が進む中、これに対応する監視カメラのネットワークカメラと、その画像記録装置のネットワークレコーダーが需要を獲得している。自動車・ITS分野では車両入退場管理システムの採用が進んでおり、今後の市場を牽引していくと考えられる。

3. カーセキュリティ

09年 683億円 10年見込 678億円 13年予測 788億円(09年比115.4%)

自動車の生産、販売動向に影響されるため、2009年、2010年と2年連続で市場が縮小する見通しである。自動車市場が回復すると考えられる2011年以降は、純正品を中心に市場の拡大が予測される。

2013年に2009年比で高い伸長率が予測されるのは、車載カメラとカーセキュリティシステムである。それぞれ約15%増が予測される。車載カメラは後方視認のバックモニタが大半となっており、オプション適用車種の拡大が期待される。カーセキュリティシステムはドライブレコーダーがタクシーを中心にトラック、バスといった業務用車両で、助成制度の下支えもあり搭載が進んでいる。タクシーは8割近くに搭載され需要が一巡しつつあり、今後はトラック、バスなどへの搭載が中心になると予測される。

4. ストアセキュリティ

09年 598億円 10年見込 596億円 13年予測 625億円(09年比104.5%)

金融機関、小売店舗、外食店舗、遊戯施設などを対象とした。2009年は設備投資の抑制が大きく影響し、前年比20%近く減少した。2010年も設備投資が冷え込んでおり、微減が見込まれる。市場が反転するのは2011年で、以降は微増推移と予測する。

映像監視分野が過半数を占めている。ビル設備と同様に、IPネットワーク化によってネットワークカメラやネットワークレコーダー、画像遠隔モニタリングサービスが需要を集めている。

<セキュリティ機器・システム、サービス 注目市場>

1. ネットワークレコーダー【映像監視(映像監視システム:画像記録装置)】

09年 39億円 10年見込 54億円 13年予測 111億円(09年比284.6%)

監視映像の記録・保存に加え、動きのある場面を察知し記録する動作検知や、必要な場面を迅速に探す検索などの機能を付加したIPネットワーク対応の画像記録装置である。

ネットワークカメラの普及と需要の高まりに連動して市場が急拡大している。2010年は前年比38.5%増の54億円が見込まれ、2011年以降も年率二桁増が続くと予測する。

最近では、アナログカメラとネットワークカメラの両方に対応できるハイブリッドモデルが実績を伸ばしている。また、海外からの廉価製品も含め新規メーカーの参入が活発であり、低価格化が進んでいる。セキュリティシーン別に見ると、前述したビル設備セキュリティやストアセキュリティで採用が増加している。

2. 画像遠隔モニタリングサービス【セキュリティサービス】

09年 5.6億円 10年見込 6.2億円 13年予測 8億円(09年比142.9%)

ネットワークカメラを利用したモニタリングサービスである。自宅の留守宅見守りや駐車場、店舗、業務用の監視などの用途で、画像をPCや携帯電話からモニタリングできる。なお、月額課金をベースに金額を算出しており、初期費用や周辺機器の価格は含まない。

ネットワークカメラの普及と需要の高まりに連動して市場の拡大が続いており、2009年は景気後退の影響で成長が鈍化したものの前年比5.7%増とプラスを維持した。2010年以降も成長が続くと予測される。

現状では物流や小売、工場など複数拠点をもつビジネスユーザーがメインとなっているが、一般消費者、個人事業者や中小規模事業者などの潜在需要も大きく、導入コストの低さやメンテナンスの簡略化などを強みに需要開拓の余地がある。また、参入各社においては、現状では静止画が中心である携帯電話の動画視聴対応、機器異常の自

動検知、緊急時の対応など、付加価値サービスの拡充による差別化戦略も重要になると考えられる。

3. 車両入退場管理システム【自動車・ITS】

09年 20億円 10年見込 23億円 13年予測 31億円(09年比155.0%)

駐車場の出入口に設置した認識装置で車の入退場を自動管理するシステムである。車番の認識によって車を特定し入退場を制御する「画像処理式」と、UHF帯ICタグに記録された情報を非接触で読み取り認識する「UHF帯RFID式」がある。

2009年の市場は、設備投資の抑制が影響したものの、プラスを維持した。景気回復の兆しが見られる2010年以降は、先送りにしていた設備投資の再開やUHF帯RFID式の需要が高まり、大幅な成長が見込まれる。

画像処理式は、ショッピングセンターや有料駐車場など不特定多数の人が利用する施設向けが中心で、不正防止目的の事前清算用途が多い。UHF帯RFID式は立ち上がって間もない市場であるが、人単位での入退場管理が可能なことから、工場や官公庁を中心として病院や学校、物流センターなどで採用され始めている。価格や性能の優位性が高く、また、入退室管理システムなど他のセキュリティシステムとの連携によってトータルなシステム構築が可能なことから注目を集めており、UHF帯RFID式は今後年率20%前後の高成長が予測される。

以上

<調査対象>

| セキュリティ機器・システム(6分野・31品目) | |
|---|---|
| 映像監視 | 映像監視システム、監視カメラ用レンズ |
| アクセスコントロール | 入退室管理システム、共通検出装置、バイオメトリクスセキュリティ(総合)、アクセス制御認証ソフトウェア、情報漏えい対策ソフトウェア、鍵管理ボックス、セキュリティキャビネット |
| イベント監視・通報 | 中央監視システム、侵入センサ、自動通報装置、万引防止装置(EAS装置)、校内緊急通報システム |
| 家庭向け防犯 | ホームセキュリティユニット、住宅情報盤、テレビドアホン、センサライトカメラ、家庭用防犯ロック、防犯ガラス、ガラス破壊センサ、家庭用監視通報ロボット |
| 防災・危機管理 | 火災用受信機、ガス漏れ警報器、火災用感知器、住宅用火災警報器、爆発物・危険物検出装置、家庭用緊急地震速報対応端末 |
| 自動車・ITS | カーセキュリティシステム、車載カメラ、車両入退場管理システム |
| セキュリティサービス(8品目) | |
| 画像遠隔モニタリングサービス、エレベータ異常行動検知サービス、ホームセキュリティサービス、緊急通報サービス、高齢者在室安否確認サービス、被災者安否確認サービス、登下校見守りサービス、位置情報検索サービス | |

<調査方法>

富士経済専門調査員による対象メーカー及び関連事業者等に対するヒアリング調査

<調査期間>

2010年3月～5月

| | |
|--------|---|
| 資料タイトル | 「2010 セキュリティ関連市場の将来展望」 |
| 体 裁 | A4判 281頁 |
| 価 格 | 97,000円(税込み101,850円) CD-ROM付価格 117,000円(税込み122,850円) |
| 調査・編集 | 富士経済 大阪マーケティング本部 第二事業部 TEL:06-6228-2020 FAX:06-6228-2030 |
| 発 行 所 | 株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル TEL:03-3664-5811(代) FAX:03-3661-0165 e-mail:info@fuji-keizai.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL: http://www.group.fuji-keizai.co.jp/ https://www.fuji-keizai.co.jp/ |